

指針3

これからの産業を支える 人材の育成と多様な働き方の推進



【方向性① 中小企業における人材の確保】

●中小企業の人材確保支援

現在、事業者における大きな課題の一つが人材不足です。未来に向かって発展するためには、適切な人材確保の仕組みづくりが必要です。人材不足に悩む事業者を支援するため、事業者向けのセミナーや就職イベント、助成案内、相談窓口設置等を実施している国や東京都の関係団体等の事業を検索できるデジタルツールを整備します。

また、ハローワーク池袋と就職面接会を開催するとともに、公益財団法人東京しごと財団などの関係団体と連携し、就労を促進するセミナーを実施します。さらに、区内事業者への就職や定着を支援するため、事業者や働き方の魅力アップを図ることをテーマとしたセミナー情報の提供などで事業者を後押しします。

そして、多様な価値観を持つ若い働き手の獲得対策として求められる職住近接やワーク・ライフ・バランス*を重視した多様な働き方などの課題をどう実現していくか、転職しキャリアアップすることが一般的になりつつある今、就職先として選ばれるために事業者はどうアピールしていくべきかなどについて研究していきます。

そのほか、業務効率を高めることで人手不足の解消につながるよう、AI等の先端技術を活用するなど、時代に適した経営手法を取り入れたDX推進を目指します。

●多様な労働力の活用

生産年齢人口が減少傾向にある中、年齢や性別にかかわらず高度な知識や多様な経験を有する即戦力な労働力を獲得していく必要があります。シルバー人材センターに登録している職務経験が豊富で専門知識を有するアクティブシニアの情報を、事業者が活用しやすくなる仕組みづくりをシルバー人材センターと協力して進めていきます。また、高度な知識・技能を持つ外国人や離職した子育て世代など、多様な人材を雇用する際の注意点や相談窓口の情報を事業者が取得できるよう、産業団体と連携しながら情報を発信していきます。

【方向性② 人材の育成と事業承継】

●次世代の育成

関係団体と連携し、就業体験やものづくり体験、工場見学などを行い、次世代を担う子ども達に区内産業に触れる機会を提供することで、地域産業への愛着を醸成します。また、区内大学などの教育機関と事業者がつながり、区内で活躍する人材と触れ合える職場見学会や意見交換会といった新たな取組を進め、若い人材の区内産業への理解向上を図ります。



工場見学バスツアー

●事業承継の支援

経営者の高齢化による事業者や商店街の事業承継問題に対応するため、優良事例の紹介をはじめ、事業承継・引継ぎ支援センターや日本政策金融公庫などが実施する相談窓口やマッチング支援策に関する情報を、としまビジサポの窓口やホームページで周知するなど情報発信を強化します。また、従来実施していた事業者向けの事業承継セミナーに加え、新たに商店街向けの事業承継セミナー・相談会を実施し、豊島区で長年愛された個店の魅力を持続できるようなマッチングを支援します。

【方向性③ 職場環境の充実】

●多様な働き方の推進

コロナ禍で多くの事業者に広まった多様な働き方は、働く時間や場所に柔軟性を持たせることで、育児や介護による離職を防ぎ新たな人材確保ができると期待されています。区内事業者の魅力をアップする取組として、テレワーク*やフレックスタイム制*などについて、導入に向けた課題解決への相談窓口の案内を行うとともに、事業者が国の健康経営優良法人認定制度を活用し、従業員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に取り組んだり、ワーク・ライフ・バランスに配慮した事業者に対する豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度を活かして、誰もが働きやすい環境整備を推進できるよう周知アピールしていきます。



(出典) 経済産業省ウェブサイト

●安心して働ける労働環境の整備

事業者が発展するためには、適切な人材確保に加え、人材が定着する仕組みづくりが必要です。従業員が長く働き続けられる事業所となるためには、経営者が雇用に伴うリスク管理を適切に行い、積極的に職場の労働環境を整備する必要があります。としまビジサポにおける労働相談をはじめ、東京都労働相談情報センター等の関係団体と連携し、労働環境の改善に向けたセミナー情報や法令改正等の情報提供を行うことで、労働環境の向上に向けた事業者の取組を支援していきます。

【方向性④ 伝統工芸技術の承継と発信】

●伝統工芸品の発信強化と販路拡大

長きにわたり受け継がれてきた伝統工芸の技術は、工芸士の高齢化により承継が危ぶまれています。伝統工芸の技術習得には時間を要し、すぐには生業としにくいのが現状です。体験教室や伝統工芸展等のイベントを通じて次世代のものづくりへの関心を喚起するとともに、若い世代を対象とした職人体験や後継者育成など、時流に合わせて段階を踏んだ技術承継の支援を行っていきます。

また、現在も実施している伝統工芸保存会ホームページや映像、リーフレットを活用したPRに加え、ふるさと納税の返礼品として工芸品や工芸体験をPRすることで、豊島区外の新たな購買層を開拓し、さらなる商品開発や販路拡大を支援します。



伝統工芸体験

コラム

豊島区の伝統工芸 ～としまの匠たち

豊島区では、13業種21名の伝統工芸士が「豊島区伝統工芸保存会」を結成し、伝統文化と工芸技術の保存・伝承を目的に活動しています。

主な活動

①伝統工芸教室

- ・区内在住の方を対象とした工芸教室を定期的を開催しています。

②夏休み親子伝統工芸教室

- ・夏休み恒例の小学生と保護者を対象にした教室を開催しています。

③豊島区伝統工芸展

- ・豊島区伝統工芸保存会に所属する工芸士による作品の展示、実演、販売を行っています。



伝統工芸展の様子

業種

東京籐工芸・東京手描友禅・東京組紐・貴金属装身具・江戸提灯・東京三味線・東京彫金・江戸べっ甲・江戸象牙・和服仕立・金工・つまみ細工・江戸根付

